

科学情報発信セミナーII 講義（11月2日実施分）報告

報告者 小林毅

平成19年11月2日（金）科学情報発信セミナーIIの講義を実施しました。今回は雑誌「数学セミナー」の編集に長年関わってこられた大賀雅美氏を講師にお迎えして「数学を社会に向けて発信すること」についてお話を伺いました。

開催日時 平成19年11月2日（金）16:20～17:50
場所 奈良女子大学 数学第3セミナー室（新B棟4階）
題目 「数学を発信するということ：『数学セミナー』の編集を通して」
講師 大賀雅美氏（「数学セミナー」編集長）

講義内容：

・『数学セミナー』の歴史

講義ではまず『数学セミナー』の歴史について述べられました。創刊（1962年4月）にあたって遠山啓先生、矢野健太郎先生のお二人が編集委員として参画され、数学に関するユニークな雑誌作りを目指したこと等この雑誌の基本的なスタンスについての紹介がありました。

・『数学セミナー』ができるまで

次に具体的なタイムテーブルを示しながら、雑誌の編集と言う作業がどのように進むのか、また雑誌の特集などを組むにあたってどのような議論がなされるのかなど、具体的な作業について紹介がありました。「雑誌は学ぶきっかけを作るもの」など雑誌を編集の根底にある色々な考えについてお話を聞くことが出来ました。

・編集という作業に関わることについて

「編集者に必要と思われる素養」等についてのお話がありました。「いろいろな分野に興味をもつこと」、「こだわりを持つこと」といった実際の体験に基く内容は聴講している学生達にも参考になることがたくさんあったようです。

・その他の話題

その他に数学科出身の学生に対して企業が期待している能力、また一般企業で働く女性が恋愛・家庭と仕事を両立させるためのコツ、といった編集とは少し離れた話題についても興味深いお話がたくさんありました。

聴講者からは「なかなか原稿を出してくれない著者にはどのように対応するのですか」など編集に関して気になる事等次々と質問が飛び出し、講義は和やかな雰囲気の中で行なわれました。この講義を通して数学に限らず科学情報を社会に向けて発信してゆくことについて参考になる情報をたくさん得ることが出来たと思います。

